

松友会だより

謙虚さはありますか

それが人を成長させるのです

清永辰生

青葉が美しく茂る五月から七月頃に吹く、さわやかなやや強い南よりの風を青嵐（あおあらし）といいます。清涼さと木々の緑にかこまれる暦の上の入梅が、六月十一日頃になります。

知ったかぶりをする人はどこにでもいるものです。お酒の席で評論家のように、あれこれと時事問題を語ったり、政治経済について熱弁をふるつたりします。たいていの場合そういった人は、自分が詳しく知らないことについても、他人から聞いた話や知識をそのまま自分の知識のように話しています。

そんな受け売りの知識や、その場しの見抜かれているものですが、本人は気づかないことが多いのではないか。しかも相手や周囲に対して「こんなことも知らないの」という顔をしたり、「自分はこんなに知識があるんだ」という態度をとつたりして自分の優位性をアピールしようとします。

空海は次のように語っています。「末学の凡夫、あながちに胸臆（くおく）に任せて難事（なんじ）の境界を判擇（はんじょう）すべからず」

学問が未熟な世俗の人気がつたかぶりをして、悟りの世界について語るべきではない、という意味です。

編集 松友会新聞編集委員



要するに空海が生きていた時代にも、そんな人がいたということでしょうか。こういう人は知らないと言うのが苦手で、また人に教えてもらうのも苦手です。

知らないことは恥ずかしいことと思っているからでしょう。しかし空海のことばの奥には知らないことを知らないという、知らないければ教えてもらう素直さをもつ、他人に対しては常に謙虚な態度で接するといった考え方があるように思います。

たしかに物事を知らないよりも知っているほうがいいでしょう。しかし誰にでも知らないことはあるはずです。「知らない」と言えなかつたり、謙虚に「教えて」と言えなかつたりするのは、かえつて恥ずかしいことではないでしょうか。そういう自覚をもつことが人としての成長につながると思いませんか。

暮らし中の仏教語

「不退転」

不退転は強い信念をもち、何事にも屈しないで突き進む心構えという意味で、よく「不退転の決意」などと使われます。

修行をしなかつたり、悪行を行つて仏道から脱落することを「退転」と言います。反対に仏道の修行がかなり進み、ものはや悪い誘惑に乗ることもなく、それまでに得た悟りを二度と失わない状態に達したことを「不退転」と言います。仏教の世界では、目指すべき境地とされています。

六月度の主たる行事のご案内

若葉の季節も終わり、初夏の到来です。また、雨季を迎えるので皆様健康管理に気を付けて元気に過ごして下さい。

引き続きよろしくお願ひ致します。

☆月例会 六月十日（土）午後一時開催です。

内容は森田インストラクターによります催します。毎回楽しいひとときをいたさり感謝いたします。お楽しみに！

七月の月例会は七月八日（土）午後一時開催です。

内容はアートバルーンを予定しています。お楽しみに！

☆六月誕生日の皆さんです。
紙面にてお祝い申し上げます。

松田美榮子
桐谷正子
勝美輪
以上3名
(敬称略)

伝言板

★再生資源回収
六月八日（木）宝塚 川西地区

六月二十七日（火）川西地区

皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。

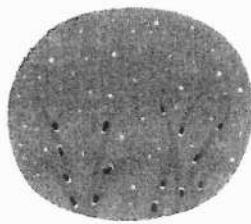
☆訃報
五月九日 梅田翠様（宝塚）が永眠されました。

※松友会だよりの原稿を編集者一同心からお待ちしております。
お近くの班長、役員へご連絡いただければ嬉しいと思います。

謹んでお悔やみ申し上げます。

地域の皆様のご協力 有難うございます。 今後も再生資源の回収に ご協力お願い致します。	
令和5年1~4月分	
新聞紙	4,910 kg
雑誌	1,320 kg
布類	280 kg
段ボール	1,200 kg
合計	7,710 kg
回収奨励金 (@ 円)	23,130 円

ご協力ありがとうございました。



コロナ旋風は沈静化したが

和泉清

顧みると、コロナとのお付き合いが始まってから3年半近くになる。「コロナに立ち向かって」から、「コロナとともに」お付き合いを強いられ、やつと「コロナとお別れ」の時代がやつてきそうだ。ある。「鬼は外」には成功したようだが、長年私どもを楽しませてくれた上野動物園のシャンシャンや、白浜アドベンチ

ヤーワールドの永明他3頭のパンダが中国へ帰つてしまつて、「福は内に」とどめて置けなかつたのはちょっと寂しいことである。

「口の上にも3年」かけたマスクも、3月13日から、着用は個人判断となつた。今後、慣れ親しんだ「マスク」というマスクをかけていないときに、マスクをかけているのは変なものだよ。でもそれは臆病ではなくして、文明人としての勇気だと思うよ。」と、菊池寛が、スペイン風邪におびえた日々を短編小説「マスク」に書いたそうだが、昔も今も人の心は変わらないようである。1923年に商標登録第一号「寿マスク」が認定された。

日本最古のマスクは、幕末の医師、宮太柱（みやたいちゆう）が考案した「福面」とのことだが、石見銀山で働く労働者のための防塵用に作られたそうである。針金の枠に綿布を縫い付け、表面に柿渋を塗り、中に梅肉を挟んで両耳にかけたとのこと。意外と長い歴史に驚くが、時を経て今日、立体構造やカラフルな商品とその多様性に驚くばかりである。

一方で、第9波到来かもとの説がある中で、コロナは感染症法上、インフルエンザ並の5類に格下げされるが、



樂観論？で始めたロシアの対ウクライナ侵略紛争は一年以上経つても収拾のめどが立たない。短期決戦を想定した樂観的軍事作戦といえども、約80年前の我が国の愚かな対米開戦もそうであった。「治にあつて乱を、乱にあつて治を」との格言もある。心に準備は怠るまい。

「挑むなり古希の手習い初稿」と詠んで5年が過ぎようとしています。綺麗な文字が書けたならと一念発起、習字を習い始めました。楷書にかなに、と先生のお手本に忠実にそれはそれは眞面目に懸命に励みました。肩がバキバキになり背中がパンパンになつても、で

生きること

黒田 千代子

風邪をひいて鼻が詰まると、呼吸のあがたさに気付きます。重い荷物を持つて息を切らすと、心臓の鼓動のありがたさに気付きます。

飲食が過ぎて、胃がもたれると、消化や代謝のありがたさに気付きます。見えてること、聞こえること、手足の動き、体温調節、排泄など、など、数え上げたらキリがないほど私たちの体は、あたりがたさで満たされています。

自分の力で生きていると思いがちですが、目には見えない大きな力によつて生かされて、そして、生きているのです。尊い命に感謝し、慎みの心を持ち、人とたすけあう時、生きるありがたさはさらに増します。日々を元気に過ごさせて頂いて居ります事に感謝して居ります。

これって「スランプ？」
曾我部数恵

おかげで少しは書道の道が分かりかけきました。

師匠方や書道会の皆様の書展で作品に触れるようになつた矢先、「えつ、私のこの字はなんだ！」と思うようなつて、大きな疑問にぶつかりました。

鍛錬され洗礼された書は憧れであつたはずなのに、急に筆が持てなくなつて字が書けなくなりました。

先生にこのことを激白！すると先生は「華翠さん（私の書名）目が肥えてきた証拠ですよ」「第一の壁ですね」「きっと乗り越えられますよ、急がずゆづくりと一枚ずつ、書いていくことですね♡」と優しく諭して下さいました。みんなが陥る「スランプですよ」と。

えーっこれがスランプか、と驚きました。早速辞書を引いてみましたがところ、心身の調子が一時的に不振になつて、実力が發揮できず一時に落ち込んでいた状態。とありました。

イチローさんや羽生善治さんの例を紹介する記事もありました。

なんだか急に恥ずかしくなつて「華翠ごときが一人前のこと言うんじやないよ」と瞬間スランプから脱出できたように思いました。きっと私は、結果を焦りすぎてすぐに立派な書が書けると思つていたのでしょうか。

反省。

ボツボツ気長にお手本を見ながら、書に挑戦し続けたいと思います。

私の座右の銘は『挑むなり』です(ーー)先生の助言を胸に、古希の初心に戻つて挑むなり古希の手習い初稿」と詠んで5年が過ぎようとしています。

川柳（六首）

おじいちゃん 真土の土産は

どこで買う

起きたけど 寝るまでとくに

用もなし

延命は 不要と書いて 医者通り

つまずいて 何もない道 振り返り

2世帯を 建てたが息子に 嫁が来ぬ

リハビリに 足腰きたえ 膝いため

（作者不明）

編集後記

新型コロナがインフルエンザと同じ5類に移行しましたが、病気としての脅威は何も変わつていません。これからは自分の身を自分で守つていく事が重要です。お互い注意しましょう。